

「元気発進！子どもプラン」第3次計画 (次世代育成行動計画) の評価方法について(案)

子どもプラン第3次計画の評価については、第2次計画の手法を継承しつつ、実際に評価を行う中で明らかになった課題等を踏まえ、下記のとおり一部修正を行う。

成果の評価について

〈現状〉 ～ 第2次計画

- 各施策の成果指標を、前年度に比べ「上がったか」「下がったか」で評価する方法としているが、指標によっては、評価が2→3→1→3→2のように、毎年度上下し、目標に対して達成できているか評価しづらいという課題がある。

【現状の評価例】

目標：基準値よりも「増加」

	n-1年度 (基準値)	n年度	n+1年度	n+2年度	n+3年度	n+4年度
～の 満足度	50%	55%	50%	60%	55%	60%
<u>対前年度</u>	-	5p ↑	5p ↓	10p ↑	5p ↓	5p ↑
<u>評価</u>	-	2	3	1	3	2

1：大変良い状況にある

2：概ね良い状況にある

3：概ね良い状況とまでは言えない

4：不十分な状況にある

・ 目標に対する評価とはいい難い
・ 評価が上下する



〈修正案〉 ～ 第3次計画

- 「前年度に比べて」ではなく、基準値に比べ「上がったか」「下がったか」で評価するよう修正する。

【修正後の評価例】

目標：基準値よりも「増加」

	n-1年度 (基準値)	n年度	n+1年度	n+2年度	n+3年度	n+4年度
～の 満足度	50%	55%	50%	60%	55%	60%
<u>対基準値</u>	-	5p ↑	±0p	10p ↑	5p ↑	10p ↑
<u>評価</u>	-	1	2	1	1	1

・ 目標に対する
評価となる

注：計画の最終年度に具体的な数値目標を立てる指標については、上記のやり方ではなく、当該目標に対する進捗度で評価する。(評価方法は別途定める。)